≪松川村≫　松川村ボランティアセンター

〔センターの基本事項〕

所在地	〒399-850 北安曇郡松川村5650-19			
電話	0261-62-9000	FAX	0261-62-1111	
電子メール	mhakyo@coral.ocn.ne.jp			
HPアドレス	http://www.18.ocn.ne.jp/~msyakyo/			
職員数	正規	3名	嘱託	2名
	臨時	—	その他	—
開所日と時間	平　日　8:30～17:15 必要に応じて土日祝開所。夜は会議等21:00まで開所			
情報誌	社協だより（内２項）			
	3ヶ月に1回発行			
来所者数	年間　5,000名			

〔センターの運営方針・指針等〕

各々のグループ、個々の活動を支援しながら、村のボランティア活動の活性化を図る。
ボランティア協議会の活動支援を行う。

〔センターの拠点整備〕

活動場所の提供	○	無料、対象者：村内在住者
フリースペースの設置	○	ボランティアルーム
資機材等の貸出	○	コピー機、プロジェクター 無料
福祉体験器具等の貸出	—	
登録グループの専用ポストの設置	—	
情報掲示板・チラシ提供スペースの設置	○	

〔ボランティアセンター運営委員会〕

組織の有無	無	規約	無
名称	—		
—			
委員構成	—		
事業への関わり	—		
工夫点	—		
課題点	—		

〔ボランティア連絡協議会〕

組織の有無	有	規約	有
名称	松川村ボランティア協議会		
平成8年2月設立。			
協議会構成	20団体　600名		
工夫点	毎月委員会を開いて、活動の内容等検討して、支援していく。		
課題点	委員が高齢化してきており、スムーズな新旧交代が課題		

〔財源〕

人件費	独自財源	—	
	共同募金	—	
	委託料・補助金	—	
	民間助成金	—	
	その他	—	

事業費	独自財源	○	社協会費
	共同募金	—	
	委託料・補助金	○	村補助金（運営費）
	民間助成金	—	
	その他	—	

〔業務及び事業について〕

ボランティア活動支援

相談・コーディネート	○	独
ボランティア保険加入事務	○	独
ボランティア・ＮＰＯへの助成	○	独
各種情報提供	○	独

広報・啓発

ボランティア広報誌・情報誌の発行	○	独
ホームページの運営	○	―

相互交流・ネットワークづくり

ボランティアの集い	○	独・共
・ボランティア研修会（各グループ） ・全体交流会（各グループが集まって交流）		
ふれあい祭り等の開催	―	―
―		

ボランティア講座

未経験者向け	―	―
―		
活動者向け	○	―
―		

福祉教育・ボランティア学習

小中学生対象	○	共
・小学生ボランティア教室（１ヶ月に１回） ・笑顔委員会交流（小学校） ・委員会（中学校） ・福祉体験講座（小・中学校）		
高校生対象	―	―
―		
大学・短大・専門学校生対象	○	共
・各ボラ体験実習受入れ ・資格取得実習受入れ		
教員・学校関係者対象	○	―
・新任研修受入れ		
一般対象	―	―
―		
福祉教育協力校への助成事業	○	―

総　　額	100,000円	１校あたり	約50,000円
小 学 校	1校	中 学 校	1校
高等学校	―	そ の 他	―

その他の事業

〔事業計画・センター運営等について〕

○事業計画について 毎年度の事業計画について、どのように計画を立案していますか？	担当部署・担当職員間で事業計画を立案している。
○センターにおける中長期計画について 独自の中長期計画・アクションプラン等を作成していますか？	名称：松川村社会福祉協議会事業計画 内容：ボランティアセンターの運営
○アドバイザー等について センターの運営や事業実施に関して、アドバイザー等の助言者はいますか？	―
○社協ＶＣ以外の中間支援機関について 社協が運営するＶＣとは別に、他団体が運営する中間支援機関が地域内にありますか？	―

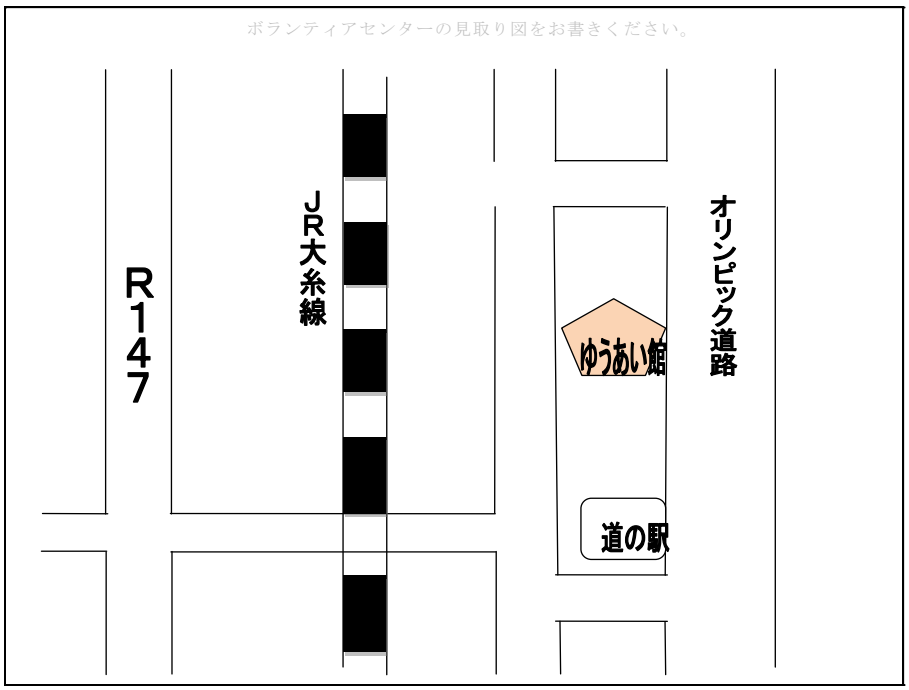
○連携するＮＰＯや関係機関について
ＶＣの事業・運営において連携・協働しているＮＰＯや関係機関等はありますか？

連携・協働先	連携・協働内容
―	―
―	―
―	―

○センターの強みと弱みについて

《強み》	《弱み》
皆のより所になっており、様々な声が入ってくる。 活動の拠点になっている。	なかなか先を見ての事業計画が立てられない。 全員が兼務であり、腰を据えたセンターになれない。

○ＶＣ見取り図



○他市町村社協ボランティアセンターについて
センター運営や事業実施に関して、他市町村社協ＶＣに聞いてみたいことや知りたいことなど
同じ規模の町村での事業実施等お聞きしたい。

ボランティアセンターの重点事業について

事業名	ボランティア研修会
目的	日ごろ活動している仲間が一堂に会して、活動の内容、工夫していること、困っていることなどを話し合い、次への意欲を起こすことにつなげる。 仲間の輪を作る。
開催頻度	各グループ　年１回、グループ毎
内容	それぞれの活動報告を基に、問題点をあげて話し合う。これからに向けて、活動内容を検討して、活動を更に活発にする。 テーマを持って話し合う。「成年後見」「災害への備え」
対象者	ボランティア全員
企画のポイント 事業成果	毎年、11 月～12 月に行う。１年の区切りとして行う。 顔を合わせることを、会員の皆さんがとても楽しみにしている。 活動の意欲向上につながっている。
参加者の声や その後の動き など	「これからも続けて活動していきましょう」と意欲の向上化につながっている。

事業の様子

事業の様子の写真等を 添付してください	事業の様子の写真等を 添付してください